



2023年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年6月9日

上場会社名 くら寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

四半期報告書提出予定日 2023年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	101,845	14.0	1,186		1,141		1,095	
2022年10月期第2四半期	89,312	19.7	323	24.6	3,507	196.0	2,201	229.2

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 1,521百万円 (%) 2022年10月期第2四半期 3,007百万円 (357.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	27.55	
2022年10月期第2四半期	55.49	55.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	110,515	56,930	43.5
2022年10月期	109,621	58,967	45.8

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 48,105百万円 2022年10月期 50,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		20.00	20.00
2023年10月期		0.00			
2023年10月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	14.2	3,000		3,100	26.2	1,100	47.7	27.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期2Q	41,399,600 株	2022年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2023年10月期2Q	1,653,227 株	2022年10月期	1,655,857 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期2Q	39,743,559 株	2022年10月期2Q	39,671,530 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年11月1日から2023年4月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動の停滞が続くなか、エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、2022年11月に感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症第8波により、特に郊外店舗の人流が減少するなどの影響がみられました。また、食料品や光熱費の急激な上昇による節約志向の高まりから、外食機会の減少がみられるなど厳しい状況が続きました。加えて、外食チェーン店においては、いたずら動画がSNSで拡散され社会問題化したしました。

このような状況のもと、当社グループは、安心・安全に関するさまざまな取り組みを行いながら、当社の目指す回転寿司本来の手軽さと楽しさを追求してまいりました。

また、2022年11月には非接触型サービス「スマートくら寿司」や漁業創生を目指す「KURAおさかなファーム」の取り組みなどが総合的に評価され、農林水産省の「日本サービス大賞」に選定されました。

店舗開発につきましては、国内16店舗、米国5店舗、台湾2店舗の計23店舗を出店いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で636店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国45店舗、台湾50店舗を含む)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

①日本

売上高805億33百万円(前年同期比7.4%増)、経常損失15億14百万円となりました。新型コロナウイルス感染症第8波による人流の減少や、飲食店における迷惑行為もあり、影響を受けました。迷惑行為への対策としてAIカメラシステムを改良し、迷惑行為を感知して防止する新システムを開発し、全店での導入を完了させて、安心、安全に食事ができる環境を整えました。今後とも、おすしが回るエンターテインメント性を守ってまいります。販売面においては、アフターコロナの需要獲得のため、「かに」「まぐろ」など人気の高い商品を中心としたフェアを展開し、人気アニメ「鬼滅の刃」「ちいかわ」「名探偵コナン」のグッズプレゼント等のキャンペーンを実施するとともに、積極的なTVコマーシャルの投入を行い、当第2四半期連結累計期間における売上高は過去最高となりました。

一方、円安に伴う原材料やエネルギー価格が大幅に上昇したほか、人件費の上昇に加え、資材費や水光熱費など様々なコストアップが発生しており、それらに対応するため、2022年10月に1皿110円(税込)の商品を115円(税込)、一部の1皿220円(税込)商品を165円(税込)に変更するなど、メニューミックスも含めた価格改定を実施いたしました。

②北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、売上高115億30百万円(前年同期比66.1%増)、経常損失4億19百万円となりました。継続的な新規出店と堅調な米国経済を背景に好調な売上高となりました。反面、40年ぶりに高い消費者物価上昇率を記録するなど、物価や賃金のインフレにより収益が圧迫されました。2022年11月の全米最大級のショッピングモール「モール・オブ・アメリカ」への出店をはじめ、ジャージーシティ、フィラデルフィア、エジソン、オークブルックテラスに出店いたしました。好調な売上を背景に、当第2四半期連結累計期間における店舗段階での収益は過去最高となりました。

③アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司(KSA)を含むアジアにおきましては、売上高97億81百万円(前年同期比32.6%増)、経常利益は7億93百万円となりました。新型コロナウイルス感染症にかかる影響はほぼ無くなり、消費の回復傾向から売上高は順調に推移いたしました。また、2022年12月10日には台湾への入境者数制限も撤廃され、観光産業、飲食業に力強い追い風となりました。2022年12月には人気キャラクター「BT21」のグッズが当たるキャンペーンを実施しました。また、2023年3月には人気キャラクター「リラックマ」とタイアップし、「ビックラポン!」の景品にキャラクターアイテムとして採用するなど、お客様に大変ご好評をいただきました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,018億45百万円、経常損失11億41百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億95百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、1,105億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億93百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が32億49百万円減少した一方で、原材料及び貯蔵品が4億93百万円、有形固定資産が31億76百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して29億30百万円増加し、535億85百万円となりました。これは、主に買掛金が10億64百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失10億95百万円を計上し、配当金の支払い7億94百万円を行ったこと等により、前連結会計年度末と比較して20億37百万円減少し、569億30百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが41億55百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが56億58百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが18億49百万円の支出、新規連結に伴い現金及び現金同等物が2億33百万円増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より32億49百万円減少し、99億20百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は41億55百万円(前年同期比30.0%減)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失が12億3百万円であったことに加えて、減価償却費が41億53百万円、仕入債務の増加額が10億95百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は56億58百万円(前年同期比2.1%増)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が49億88百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は18億49百万円(前年同期比20.9%減)となりました。これは、リース債務の返済による支出が16億11百万円、配当金の支払額が7億92百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月12日に公表いたしました業績予想につきまして、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,169	9,920
売掛金	4,642	4,795
原材料及び貯蔵品	2,410	2,904
その他	2,895	2,800
流動資産合計	23,118	20,420
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	31,321	32,901
使用権資産(純額)	20,690	21,333
その他(純額)	20,257	21,211
有形固定資産合計	72,269	75,446
無形固定資産	1,251	1,354
投資その他の資産		
長期貸付金	4,687	4,790
差入保証金	6,710	6,811
その他	1,583	1,693
投資その他の資産合計	12,982	13,294
固定資産合計	86,503	90,094
資産合計	109,621	110,515
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,609	7,674
短期借入金	—	438
未払金	7,566	7,452
未払法人税等	587	808
その他	7,798	8,099
流動負債合計	22,561	24,472
固定負債		
リース債務	24,196	25,189
資産除去債務	2,731	2,835
その他	1,164	1,087
固定負債合計	28,092	29,112
負債合計	50,654	53,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	7,814	7,836
利益剰余金	40,265	38,336
自己株式	△2,020	△2,006
株主資本合計	48,064	46,170
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,193	1,934
その他の包括利益累計額合計	2,193	1,934
新株予約権	787	978
非支配株主持分	7,921	7,846
純資産合計	58,967	56,930
負債純資産合計	109,621	110,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	89,312	101,845
売上原価	40,463	46,347
売上総利益	48,849	55,497
販売費及び一般管理費	48,526	56,684
営業利益又は営業損失(△)	323	△1,186
営業外収益		
受取利息	27	55
受取手数料	84	78
為替差益	57	-
助成金収入	3,055	17
雑収入	72	100
営業外収益合計	3,297	251
営業外費用		
支払利息	105	122
為替差損	-	76
雑損失	7	7
営業外費用合計	112	206
経常利益又は経常損失(△)	3,507	△1,141
特別損失		
固定資産除却損	20	49
減損損失	-	13
特別損失合計	20	62
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,487	△1,203
法人税、住民税及び事業税	1,032	306
法人税等調整額	242	△415
法人税等合計	1,274	△109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,212	△1,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,201	△1,095

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,212	△1,094
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	795	△427
その他の包括利益合計	795	△427
四半期包括利益	3,007	△1,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,670	△1,354
非支配株主に係る四半期包括利益	337	△167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,487	△1,203
減価償却費	3,571	4,153
減損損失	—	13
受取利息	△27	△55
支払利息	105	122
助成金収入	△3,055	△17
棚卸資産の増減額(△は増加)	△275	△502
売上債権の増減額(△は増加)	△469	△169
仕入債務の増減額(△は減少)	849	1,095
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,064	△265
その他	857	1,192
小計	3,978	4,364
利息の受取額	7	35
利息の支払額	△105	△122
助成金の受取額	4,165	20
法人税等の支払額	△2,109	△141
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,937	4,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,580	△4,988
無形固定資産の取得による支出	△193	△218
貸付けによる支出	△176	△284
差入保証金の差入による支出	△228	△109
差入保証金の回収による収入	44	21
その他	△407	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,541	△5,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	443
リース債務の返済による支出	△1,575	△1,611
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△791	△792
ストックオプションの行使による収入	30	111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,336	△1,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	409	△130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,531	△3,483
現金及び現金同等物の期首残高	18,748	13,169
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	233
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,216	9,920

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2 四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	74,995	6,941	7,375	89,312	89,312
外部顧客への売上高	74,995	6,941	7,375	89,312	89,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	74,995	6,941	7,375	89,312	89,312
セグメント利益又は 損失 (△)	3,167	△356	696	3,507	3,507

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

II 当第2 四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	80,533	11,530	9,781	101,845	101,845
外部顧客への売上高	80,533	11,530	9,781	101,845	101,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	80,533	11,530	9,781	101,845	101,845
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,514	△419	793	△1,141	△1,141

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。